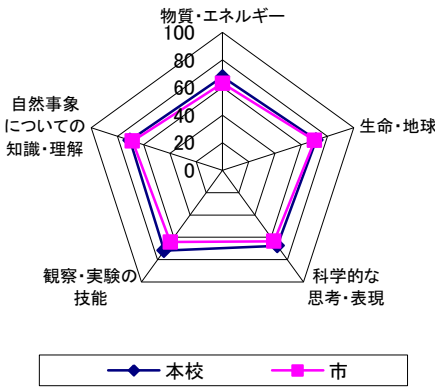


宇都宮市立陽東中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	67.7	63.0	57.9
	生命・地球	71.4	70.2	65.2
観点別	科学的な思考・表現	67.6	63.5	57.5
	観察・実験の技能	71.9	64.3	61.5
	自然事象についての知識・理解	70.4	68.6	64.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・市と比べ、4.7ポイント上回っている。どの分野の記述問題でも市を上回っていることから、実験の結果から考察・推測する科学的な思考力・表現力が身に付いていると考えられる。また、特に「光と音の性質」、「酸・アルカリとイオン」、「物体のいろいろな運動」では市平均を5ポイント以上上回る問題が多く、基礎・基本が定着している生徒が多い。	・分野によって正答率に差があるので、今後も各分野とも基礎・基本の定着を図るような学習指導を行う授業を進めていきたい。 ・科学的な思考・表現の力を更に高めるため、実験の機会を多く設け、その現象から分かること・考えられることを自分の言葉でまとめる力を育む時間を重視した授業を進めていきたい。
生命・地球	・市と比べ、1.2ポイント上回っている。しかし、分野別にみると課題が見られる問題もある。具体的には「火山活動と火成岩」、「動物の分類・生物の変遷と進化」、「前線の通過と天気の変化」において、記号選択問題ではない問題の正答率が低かった。自然事象についての知識・理解の定着が不十分な面がみられる結果だと考えられる。	・自然事象についての知識・理解の定着に重点を置く必要がある。小テストなどをこまめに取り入れるなど、学習内容の復習を行うことで、基礎・基本の定着を図れる授業を進めていきたい。 ・全体的にはどの観点も市の平均並みなので、今後も観察・実験、知識定着の指導計画を立ててバランスのとれた学習が進めていきたい。